



【新規】区職員の働き方改革「しながわ〜く」の推進 ～BPRによる業務改善に向けた取り組み～

◇事業目的

近年、国や東京都等において「働き方改革」について様々な取り組みが進められている。品川区では、働き方改革「しながわ〜く」を推進し、庁内一斉消灯や勤務時間の弾力化などに取り組んでいる。一方で、人口の増加や少子高齢化の加速化等により、今後も行政需要・課題は多様化・増加し、職員の業務負担等も増加の傾向にある。

こうした状況を踏まえ、業務効率化による生産性向上・選択と集中を図り、質の高いマニュアル等の整備、業務負担・超過勤務を軽減し、より良い区民サービスを提供する。

◇事業内容

BPR (※)による業務改善の実施

業務量調査・業務フロー調査等をモデル実施し、作業プロセスの検証・見直し等を行い、業務改善や生産性の向上等を図る。

※ BPR

ビジネス・プロセス・リエンジニアリングの略。既存の業務プロセスを詳細に分析して課題を把握し、全体的な解決策を導き出すことにより、業務負担を軽減するとともに、業務処理の迅速性・正確性等の向上を通じ業務全体の効率化を図る取り組み。

◇事業予算 8,000千円

◇関連事業 働き方改革の取り組み

多様な働き方を積極的に応援（商業・ものづくり課） P22

教職員の働き方改革「しながわ働き方ルネサンス」（指導課） P93

問い合わせ：（業務改善の実施） 企画部 企画調整課長 電話 03-5742-6905
（「しながわ〜く」） 総務部 人事課長 電話 03-5742-6627

【新規】川のはん濫等の災害想定区域の 家庭のテレビへ警戒情報を配信

◇事業目的

区は、(株)ケーブルテレビ品川の「しながわテレビ・プッシュ(※)」と連携し、災害時に急傾斜地崩壊危険箇所などの特定のエリアへ避難を促進するメッセージや、最寄りの避難所の案内など、エリアや状況に合わせた特定の情報を、テレビ・プッシュのサービスに加入している家庭のテレビに配信している。

平成30年度は、新たに津波や目黒川のはん濫が想定される特定地域への避難情報配信を追加する。

※ しながわ テレビ・プッシュ

(株)ケーブルテレビ品川が行う有料サービス。区からの災害発生時の緊急防災情報などを、録画番組を見ていたりテレビの電源が入っていない場合にも、自動的に電源が入り、チャンネルが切り替わることで音と画面で必要な情報を表示できる。
(要インターネット環境)

◇事業内容

区は、加入者の初期費用(15,000円)の3分の2(津波・目黒川はん濫等想定地域以外は2分の1)を補助し、同社へ補助金を支払う。※補助件数：750件

「しながわテレビ・プッシュ」サービス内容・経緯

27年 4月 サービス開始(緊急地震速報、気象警報、河川水位、電車運行情報等)

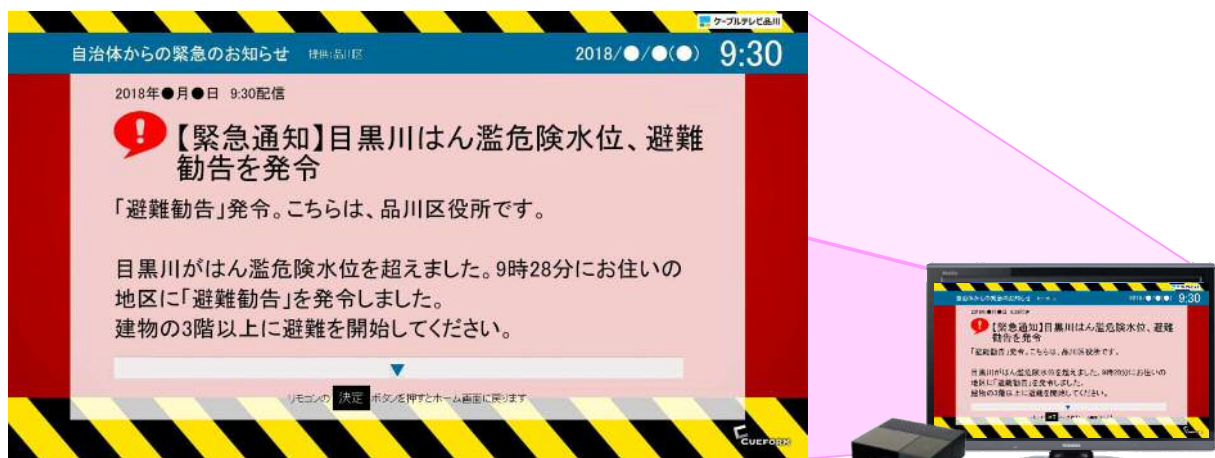
28年 9月 認知症対策行方不明者情報の配信

28年 12月 東急線各駅構内のカメラ映像の配信

29年 7月 特定のエリアごとに状況に応じた情報配信(急傾斜地崩壊危険箇所への避難勧告等)

30年度～ 津波、目黒川はん濫災害が想定される地域への情報配信を開始

◇事業予算 6,875千円



通常の警戒情報に加え、指定された該当エリアへ追加で情報を配信

問い合わせ：企画部 企画調整課長 電話 03-5742-6905



【新規】品川のコミュニティ FM 開局へ！

～災害・行政情報発信を強化～

◇事業目的

（株）ケーブルテレビ品川等が中心となり平成 30 年度中に運営会社を設立し、同社が品川区エリアでコミュニティ FM を開局する予定である。区はこの FM ラジオを有効活用し、災害時に避難情報や被害情報を発信し、情報弱者等への情報発信を強化するとともに、平常時は地域に密着した情報発信を推進する。

◇事業内容

区は、新たに設立されるコミュニティ FM 運営会社に出資し、コミュニティ FM 放送の開始を支援していく。

開局後、区の行政情報をはじめ、地域に密着した情報を発信していくとともに、緊急時・災害時には通信制限等のかからない区内の情報伝達手段として、24 時間自動音声で情報提供できる体制も整備する。

◇事業予算 36,208 千円

（内訳）	コミュニティ FM 運営会社設立出資金	20,000 千円
	災害時情報伝達設備整備費	8,208 千円
	情報番組等制作費	8,000 千円



問い合わせ： (FM 開局) 企画部 企画調整課長 電話 03-5742-6905
 (番組制作) 企画部 報道・プロモーション担当課長 電話 03-5742-6616

デジタルサイネージで情報発信

◇事業目的

さまざまな情報を積極的かつ効果的に発信する新たな広報媒体として、デジタルサイネージを導入する。区政情報を提供するとともに、リアルタイムに防災気象情報・緊急情報等を提供する。

また、地域センターにおいては、地域行事のお知らせなど、町会および自治会の活動の支援・推進ツールとしても活用する。

◇事業内容

平成 29 年度に構築・設置したデジタルサイネージを 11 月に、新たに 12 台設置する。

1. 設置場所

12 カ所：本庁舎(1)、第二庁舎(2)、第三庁舎(1)、地域センター(8)

※平成 29 年度実績

12 カ所：本庁舎(2)、第二庁舎(1)、地域センター(5)、中小企業センター(1)、スクエア荏原(2)、区立総合体育館(1)

2. 発信情報

- (1) 平常時 区政情報、区からのお知らせ、天気予報等
 - (2) 緊急時 防災気象情報（地震速報・大雨洪水警報等）、緊急情報（避難情報）
- ※ 多言語対応

◇事業予算

18,757千円

(内訳)	導入経費等	12,323千円
	使用賃貸借経費等	6,434千円



問い合わせ：企画部 報道・プロモーション担当課長 電話 03-5742-6616



シティプロモーションのさらなる推進

～区民と進める魅力発信×区外在住者への認知度向上～

◇事業目的

区が活力を維持し持続的に発展するために、東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会開催を好機と捉え、区への来訪者と定住希望者の増加につなげる。さらに、対外的な評価・魅力を高めることで、区民には、区に一層の誇りと愛着を持ち、住み続けたいと感じてもらう。

◇事業内容

1. 区民と進める魅力発信

(1) 地域プレーヤー紹介 WEB マガジン

- ・各地域で、まちづくりに活躍する人をリレー形式で紹介し、人の「わ!」をつなぐ。
- ・インタビュー動画も制作し、区公式ユーチューブでも配信する。

(2) 品川区 PR 冊子

- ・先進的な施策とプロモーションを冊子にまとめる。
- ・区外在住外国人もターゲットに、4カ国語に翻訳する。

(3) 魅力発信ワークショップ

- ・区の魅力発信を区民が考え、区長へプレゼンする。
- ・ワークショップの内容をメディア(動画、雑誌)で発信する。

(4) 全国シティプロモーションサミット 2018 参加

- ・全国へ品川区の魅力を発信する。開催地：佐賀市



2. 交通機関活用による認知度向上

交通の便がいい品川区の強みを生かし、年間を通じて公共交通機関での広告を展開する。

(1) 電車広告 (車内・つり革・車体)

- ・JR 京浜東北線、東急各線、京浜急行、都営地下鉄、モノレール等の車内・つり革
- ・主に住宅地・商店街を通る東急大井町線・池上線は車体に広告を設置する。

(2) 電車車内サイネージ

29 年度制作の PR 動画「Promise ～しながわにきっと～」の 15 秒 CM や品川音頭 PR 動画を放映予定。

(3) バス車体広告 (ラッピングバス)



◇事業予算

39,660 千円

(内訳)

区民と進める魅力発信	19,660 千円
交通機関活用による認知度向上	20,000 千円

問い合わせ：企画部 報道・プロモーション担当課長 電話 03-5742-6870

フリーWi-Fi の整備エリア拡大

◇事業目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も視野に入れ、良好なインターネット接続環境を提供することで、品川区への誘客や地域のにぎわい創出につなげるとともに、震災など緊急時の通信手段を確保するため、だれでも利用可能なフリーWi-Fi（公衆無線LAN）サービスを提供する。

◇事業内容

既に大井町駅などの主要駅前をはじめ、広域避難場所となる大規模公園や総合庁舎、地域センターなどの公共施設へフリーWi-Fiを設置している。（平成29年度末、計33カ所）

平成30年度は文化センターや品川歴史館、西大井駅付近など13カ所への整備を拡充し、利用者の利便性を向上する。

サービス概要

- ・利用者は設置したWi-Fiアンテナを経由しインターネットに接続
- ・初回利用時にメールアドレスの登録が必要
- ・SSID：2020shinagawa_free_Wi-Fi
- ・利用時間：1回60分（一日の接続回数に制限なし）
- ・接続料：無料

◇事業予算 108,564千円

（内訳）	整備費	57,450千円
	運営費	51,114千円（既設分を含む）

サービスロゴステッカー



サービス案内 公園の例



問い合わせ：企画部 情報推進課長 電話 03-5742-6617



町会・自治会への支援の拡充

◇事業目的

平成 28 年の「品川区町会および自治会の活動活性化の推進に関する条例」の施行後、町会・自治会の活動に対する気運はこれまでに増して高まりつつある。平成 30 年度も、より一層の町会・自治会の活動活性化を促すために、各種支援の拡充を図る。

◇事業内容

1. 事業に対する補助制度

(1) トップランナー町会・自治会支援補助（新規）

地域の中で際立って活発な活動を行っている町会・自治会を「トップランナー」に認定し、認定された町会・自治会が行う事業の経費に対し、5分の4を補助する。

(2) 児童参加地域事業補助（新規）

町会・自治会主催の、児童が参加可能な事業の経費に対し、4分の3を補助する。

2. 活動拠点施設に対する補助制度

(1) 会議室使用料補助（新規）

独自に会館等を所有していない町会・自治会が、総会・役員会等で使用する会議室の使用料の2分の1を補助する。

(2) 活動拠点賃借料補助（拡充）

賃貸借契約により活動のための会館を借りている町会に対する賃借料補助金の年間補助件数を、5件から10件に拡大する。

3. 各種印刷物の刷新・増刷

(1) 町会・自治会ハンドブック作成

差し替え形式で作成し、前回作成時（平成 22 年）以降に改正された地方自治法の内容や区補助制度の変更点等の情報を追記することで、町会・自治会運営の参考書として、広く活用してもらう。

(2) 加入申込ハガキ作成

町会・自治会の未加入者が気軽に手に取れるよう、シナモロールを活用したデザインで加入申込ハガキを作成する。また、年間作成部数を1万部から3万部に増刷する。

(3) 地区別加入促進チラシ作成

地区別に作成する加入促進チラシの年間作成地区数を2地区から4地区へ増加する。

◇事業予算 16,048千円

(内訳)	トップランナー町会・自治会支援補助【新規】	1,044千円
	児童参加地域事業補助【新規】	2,520千円
	会議室使用料補助【新規】	409千円
	活動拠点賃借料補助の拡充	9,000千円
	町会・自治会ハンドブック作成	1,310千円
	加入申込ハガキ作成	1,045千円
	地区別加入促進チラシ作成	720千円

問い合わせ：地域振興部 地域活動課長 電話 03-5742-6689

品川&山北交流 30 周年記念事業

【新規】森林セラピー体験ツアー

◇事業目的

平成 30 年度は山北町との交流 30 周年にあたり、山北町の健康づくり推進事業である「森林セラピー体験」に品川区民が参加し、山北町の水と緑と四季を体感し、新たな山北町民とのふれあい交流を促進する。

また、森林セラピー体験をすることで、日頃の心身のリフレッシュし、未病の予防につなげる。

◇事業内容

山北町の森林セラピー体験や、品川・山北交流施設「ひだまりの里」利用を通して、山北町民との交流を深める。

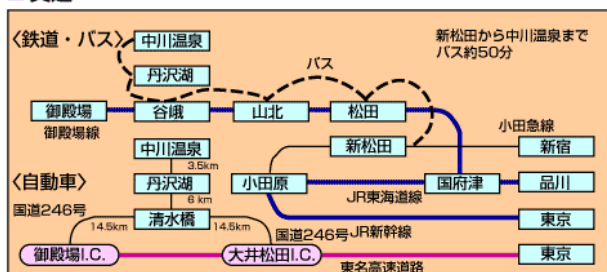
※往復の移動は貸切バスを利用

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 河村城跡コース 健康福祉プラン (ヨガ) | 6 月下旬 |
| 2. 箒杉・大滝コース ハンモックプラン | 9 月下旬 |
| 3. 河村城跡・洒水の滝コース 収穫体験プラン | 12 月上旬 |

◇事業予算 1, 7 6 0 千円



■ 交通



問い合わせ：地域振興部 地域活動課長 電話 03-5742-6689



【新規】目黒駅前に行政サービスコーナーを新設

◇事業目的

現在、利便性の高い駅前（大井町・武蔵小山）に行政サービスコーナーを設置し、戸籍・住民票の写しおよび印鑑登録証明書等の発行や、図書取り次ぎサービスを行っており、区役所閉庁時の早朝・夜間等の時間帯にも利用可能なため、多くの区民に好評を博している。

JR 目黒駅前に区内 3 カ所目となる行政サービスコーナーを開設し、区役所および地域センターから離れている周辺区民の利便性を高める。

◇事業内容

4月7日（土）に目黒駅前に行政サービスコーナーを開設する。

1. 業務内容

- (1) 戸籍・住民票の写し・印鑑登録証明書の発行
- (2) 図書取り次ぎサービス（貸出および返却）

2. 運営形態

事業の実施にあたっては、窓口業務運営委託を行い、併せて、聴聞等や判断を要する業務に対応するため、職員を常駐させる。

(1) 取扱時間

- 月～金 午前8時～午後7時
土・日 午前10時～午後3時

(2) 所在地

上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア 1階

◇事業予算 27,973千円



問い合わせ：地域振興部 戸籍住民課長 電話 03-5742-6655

マイナンバーカードの普及促進

◇事業目的

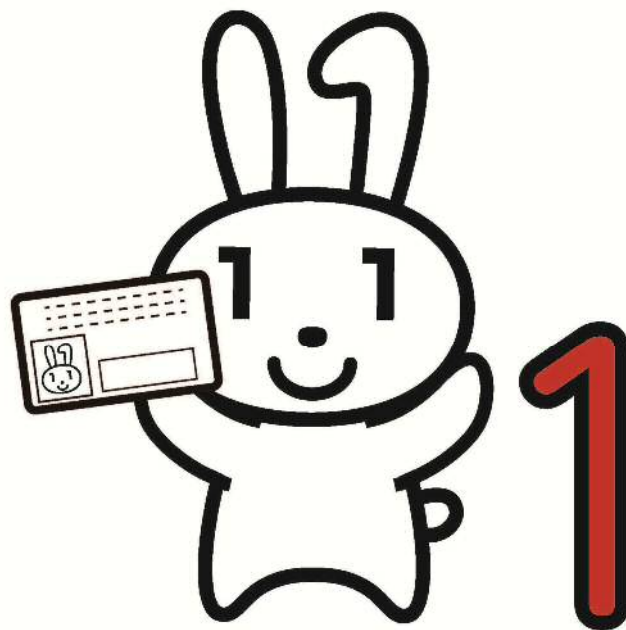
区民の利便性向上のため、マイナンバーカードと印鑑登録証の一元化を図るとともに、各種のPR活動を行い、カードの交付率の増加を図る。

◇事業内容

1. 住民票の写し、印鑑登録証明書、税証明を取得できるマルチコピー機を庁内に設置し、利便性をPRする。
2. マイナンバーカードと印鑑登録証の一元化を図る。
3. 地域センター等でマルチコピー機の体験型説明会を実施する。
4. 区内各種イベント(区民まつり等)でPR活動を行う。
5. 「申請時来庁方式」(申請時のみ窓口に来庁し、後日カードを郵送)を導入する。

◇事業予算

5, 197千円	
(内訳)	
マルチコピー機設置	2,097千円
区内各種イベント(区民まつり等)でPR活動	1,132千円
区民への申請時来庁方式導入	1,968千円



問い合わせ：地域振興部 戸籍住民課長 電話 03-5742-6655



【新規】 中小企業の事業承継をスムーズに ～事業承継設備投資支援～

◇事業目的

区内中小企業の多くの経営者が高齢化していることを踏まえ、事業の継続と経営の安定を図るため、事業承継を契機に老朽化した機械設備を買い替える製造業者や、大型冷蔵庫等の業務用機器の取り替えを行う商店等に対して、設備投資費用の一部を助成し、区内産業の活性化を図る。

◇事業内容

平成 28 年度から実施している事業承継支援事業（相談会・セミナー）に加えて、新たに事業承継計画を策定して事業承継を実施する中小企業へ、設備導入・更新などの費用の2分の1を助成する。

1. 助成対象事業者

下記のいずれかに該当する事業者

- (1) 事業の承継を3年以内に行う見込みの事業者
- (2) 事業を承継してから5年を経過していない事業者

2. 業種・限度額

製造業	上限額 500 万円
その他の業種	上限額 250 万円

◇事業予算 40,003千円

問い合わせ：地域振興部 商業・ものづくり課長 電話 03-5498-6331

【新規】中小企業の優れた技術・製品を応援 ～社会貢献製品支援～

◇事業目的

区内には優れた自社技術・製品があっても販路開拓に苦慮している中小企業もあるため、区のコーディネートによりマーケティングから実証の場の提供まで一貫した支援を行い、企業の認知度向上、導入実績による販路開拓、企業の活力向上による地域の活性化を図る。

◇事業内容

区内中小企業の自社技術・製品のうち、行政が抱える課題解決や社会貢献に寄与する技術・製品について、品川区を含む行政および大手企業等への導入を積極的に応援する。

1. 販路開拓支援

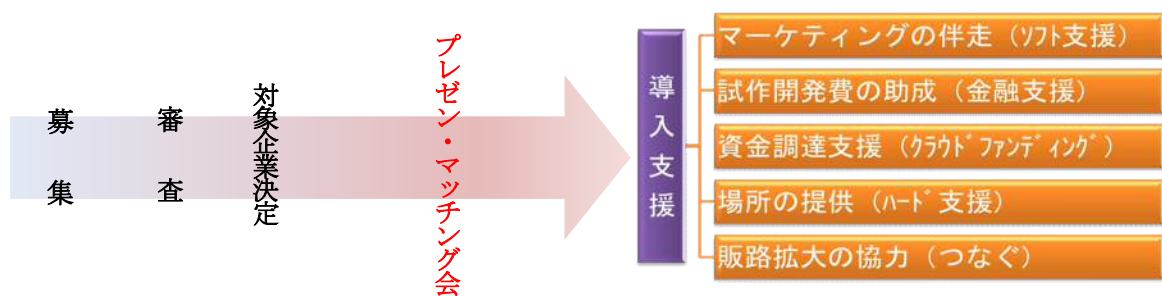
- (1) マーケティング支援
- (2) プレゼン・マッチング会の実施
- (3) 広告掲載の実施

2. 資金支援

- (1) 試作開発経費の助成（限度額 50 万円 助成率 3 分の 2）
- (2) クラウドファンディング手数料の助成（限度額 20 万円 助成率 3 分の 2）

3. 場所の提供

実証実験場の提供



◇事業予算

13,006千円	
(内訳)	
審査会運営経費	256千円
認定製品導入経費	5,000千円
認定製品広告掲載料	1,750千円
認定製品開発費等助成	6,000千円

問い合わせ：地域振興部 商業・ものづくり課長 電話 03-5498-6331



多様な働き方を積極的に応援 ～働き方改革支援～

◇事業目的

労働人口の減少や低い労働生産性が問題になっている中、働き方の改善が必要となっている。長時間労働の改善や育児・介護休暇等の取得促進に向けた働き方の改善が優秀な人材の確保・定着および生産性・経営力の向上につながる。

こうした働き方の改善等に取り組んだ企業を支援（仕事と生活（家庭）の両立支援）することにより、区内中小企業の振興を図る。

◇事業内容

平成 19 年度から実施している「ワークライフバランス支援事業」の名称を改変し、新たに「働き方改革奨励金」の創設、事業周知の拡充を行う。

1. 働き方改革への意識啓発

- (1) 産業ニュース特集号作成【新規】
- (2) 啓発パンフレット作成
- (3) セミナーの開催

2. 働き方改革の取り組みへの促進

- (1) 働き方改革奨励金【新規】

短時間勤務やフレックスタイム制などの制度を就業規則に加え、従業員の利用があった企業に対し 10 万円を交付

- (2) 事業所内育児施設整備助成

事業所内に育児スペースを整備した企業に対し、工事費や育児スペース設置場所の賃料の 2 分の 1 の範囲内で助成（上限 100 万円）

3. 相談体制の強化

- (1) 働き方改革コンサルティング費用助成
- (2) 専門家（ビジネスカタリスト）の活用
- (3) 就業支援コーディネーターの活用

◇事業予算 9, 873 千円

(内訳)	助成金	9,000 千円
	事業周知等	673 千円
	セミナー講師謝礼	200 千円

◇関連事業 働き方改革の取り組み

区職員の働き方改革「しながわ〜く」の推進（企画調整課・人事課）P10
教職員の働き方改革「しながわ働き方ルネサンス」（指導課）P93

問い合わせ：地域振興部 商業・ものづくり課長 電話 03-5498-6331

新ビジネス・新サービスの創出 ～情報通信業等の企業間連携支援～

◇事業目的

近年、「五反田バレー」といった言葉が生まれるなど、区内（大崎・五反田地区）に IoT（Internet of Things「モノのインターネット」）、AI（Artificial Intelligence「人工知能」）等の新たな情報通信技術に係る情報通信事業者やベンチャー企業等の集積が見られることから、当該情報通信事業者等の交流・連携の促進による新ビジネス・新サービスの創出を図る。

◇事業内容

1. 情報クラスター交流会

企業間連携強化のための情報通信事業者等による企業交流会を、品川産業支援交流施設（SHIP）において開催する。

2. 情報クラスターフェア

新たなイノベーションを生む情報通信業の一大拠点都市として品川区をPRし、区へのさらなる企業立地の促進および企業間交流等を図るため、品川産業支援交流施設（SHIP）において、シンポジウムおよび企業交流会を開催する。

3. 情報通信業等実態調査【新規】

区内（大崎・五反田地区）における情報通信事業者等の集積状況や企業間の連携状況、五反田バレーの取り組み状況等の実態を把握するとともに、企業が抱える諸課題および新たな支援ニーズ等について調査研究することにより、今後の区の産業活性化に向けた新たな支援施策の展開を図る。

◇事業予算

13,859千円

(内訳)

交流会・フェア開催経費

7,500千円

情報通信業等実態調査

6,359千円





モンゴルとの科学技術交流を拡大

◇事業目的

平成 26 年に日本の高等専門学校（高専）をモデルに開設されたモンゴル国の高専と区内製造業等との交流・連携事業を実施することにより、科学技術分野での長期的な相互交流を図る。

また、モンゴル高専卒業生の区内製造業へのインターンシップの実施および就職等により、技術者不足に悩む区内製造業の人材確保、技術者の育成および事業の継続を支援する。

◇事業内容

モンゴル高専との科学技術分野における交流事業を実施する。

1. 短期交流事業

学生 9 人を品川区で 9 月に約 1 週間受け入れる。

(1) 品川区紹介、品川産業支援交流施設（SHIP）等区内産業関連施設見学

(2) 区内製造業 3 社での技術体験・技術指導

(3) 都立産業技術研究センター等科学技術関連施設の見学

(4) 都立産業技術高専との交流事業（交流会・共同製作）等

※区と連携協定を締結している都立産業技術高専の協力を得ながら実施

2. 長期交流事業（インターンシップ）【新規】

学生 6 人を品川区で受け入れ、区内製造業 3 社での約 1 カ月間のインターンシップを実施する。

※モンゴル国について

平成 28 年 6 月に日本との間に EPA（経済連携協定）が発効し、今後 10 年間で両国間の関税の多くが撤廃される等、両国にとってビジネスチャンスが広がる可能性がある。

※モンゴル高専について

日本の高専をモデルに、国際的に活躍できる人材の育成およびモンゴル国の発展に寄与する工学人材の育成を目指し、平成 26 年 9 月に 3 つの高専が開校。

日本政府は、日本の高専のノウハウを輸出し、現地での開設を促す事業を平成 28 年度から開始、平成 28 年 11 月にはモンゴルに高専運営の支援窓口となる拠点を初めて設置した。

◇事業予算 5, 346 千円

問い合わせ：地域振興部 商業・ものづくり課長 電話 03-5498-6331

区内で羽ばたけ！女性起業家 武蔵小山創業支援センターで支援プログラムを開始

◇事業目的

区では、平成22年8月から武蔵小山創業支援センターにおいて、女性起業家が無理なく起業まで到達できるよう、創業スクールでの学習・テストマーケティングでの実践・ビジネスコンテストでの評価といった段階を踏んだメニューを実施している。

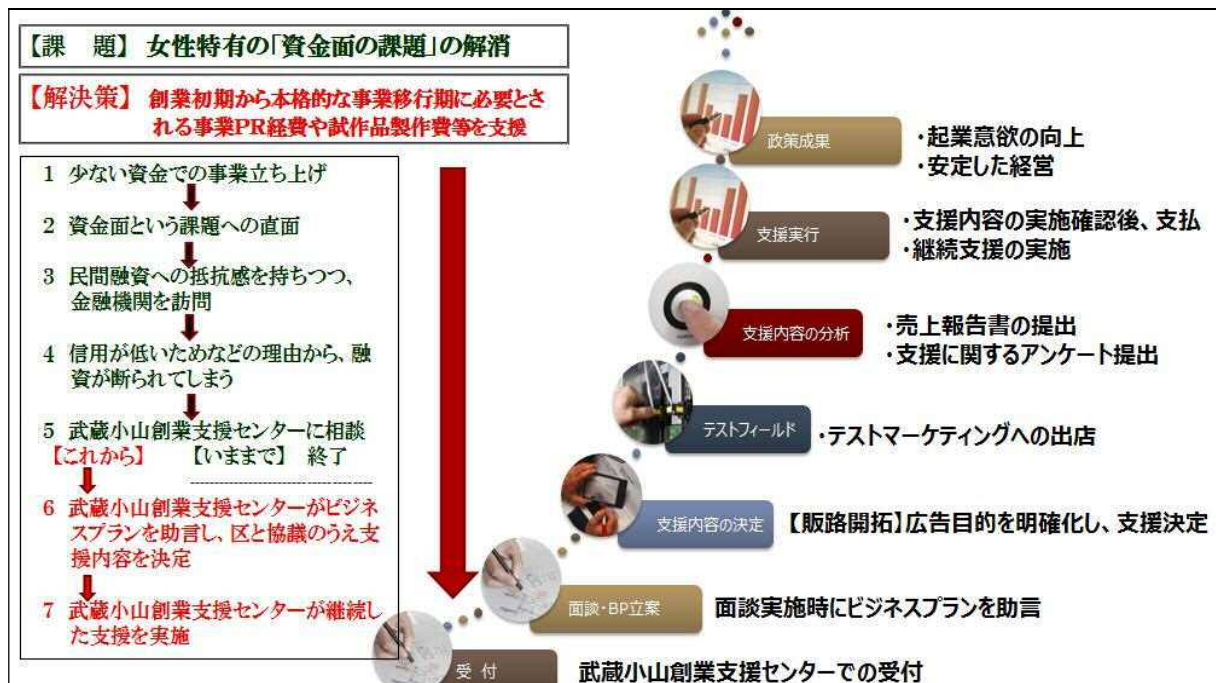
女性の起業は育児・介護といった生活に身近な視点から始まるものが多く、開業費用も小規模からスタートする傾向にあり、事業を進めていくうちに、少額ながらも「資金面の課題」に直面するケースが少なくない。こうした課題に応えるため「女性起業家向け支援プログラム」を開始する。

◇事業内容

武蔵小山創業支援センターにおいて、新たに「資金面のニーズ」に応える「女性起業家向け支援プログラム」を開始する。

1. 対象 区内在住の女性で、区内起業を検討中または起業後3年以内の個人または法人
2. 内容 事業PR経費や試作品製作費等の経費を助成

◇事業予算 2,700千円



問い合わせ：地域振興部 商業・ものづくり課長 電話 03-5498-6331



商店街で外国人への「おもてなし」 ～国際化に積極的な店舗をPR～

◇事業目的

区内商店街での外国人観光客受け入れの機運を醸成するとともに、区を訪れる外国人観光客の来街を促進し、区内商店街における国際化対応の推進および活性化を図る。

◇事業内容

おもてなし強化の取り組みを実施するとともに、外国人観光客の受け入れに積極的な商店および商店街を積極的にPRする。

1. おもてなし強化セミナーの実施

区内の店舗を対象におもてなし力の強化セミナーを実施する。

(テーマ例：異文化理解、英会話、多言語メニュー・表記方法の工夫 等)

2. 疑似おもてなし実地研修の実施

セミナーに参加した店舗や外国人観光客の接客を体験したい店舗を対象に、有志で募集した在日外国人によるワークグループが実地研修を実施する。

3. 『おもてなし』に積極的な店舗の調査発掘・事例研究

外国人を含めたワークグループによる、外国人にとってであると嬉しいサービス等を検討する他、他自治体の事例研究を行うとともに、商店主が自ら行っているおもてなし事例を募集し、「おもてなし」を積極的に行っている区内の店舗を調査、発掘する。

4. 『おもてなし』店舗のPR

セミナーに参加した店舗やワークグループによって調査・発掘したおもてなしに積極的な店舗を紹介する英語版の周知物を作成し、広くPRする。

◇事業予算 9,700千円

商店街の街路灯 LED 化を支援

◇事業目的

区では、商店街整備が地域経済の活性化や区民のより住みやすいまちづくりに寄与することから、商店街のハード、ソフト両面における整備助成を行っている。しかし、商店街のハード整備は多額の経費を要する大規模事業が多いことから、商店街の負担が大きいものとなっている。特に、東京都が実施する LED 街路灯の設置などに対する政策課題対応型商店街事業（東京都助成率 5 分の 4 に区が 10 分の 1 上乗せ助成）は、東京都から助成を受けられるまでの必要資金を調達することが商店街の大きな負担となっている。

商店街が行う資金調達（金融機関からの借り入れ等）分を貸し付けることにより、商店街の負担軽減を図るとともに、まちの防犯に資する商店街が保有する街路灯の LED 化を促進することで、街路灯の維持管理費（電気代等）削減を図る。

◇事業内容

LED 街路灯の設置にかかる助成相当額を貸付する。

1. 対象事業 政策課題対応型商店街事業助成金の交付決定を受け 12 月までに工事を完了かつ東京都へ実施報告書を提出可能である事業
2. 対象者 区内商店街等
3. 貸付方法 区が品川区商店街振興組合連合会を通じ商店街に助成相当額を貸付する。
(貸付事業は品川区商店街振興組合連合会へ委託)
4. 貸付限度額 交付決定額以下

◇事業予算 40,500 千円



【新規】明治維新 150 周年記念イベント

◇事業目的

慶応 3 年 (1867) の大政奉還後、「文明開化」という大きな変化にいち早く直面した品川区域には、歴史に残る多くの偉人たちが訪れた。

明治改元から 150 周年を記念したイベントを実施し、歴史を振り返るとともに地域への愛着と誇りを形成する。また、他の自治体にはない独自の企画でしながわの魅力を PR し、歴史に興味のある来訪者の増加、地域のにぎわい創出を目指す。

◇事業内容

1. 二十歳の龍馬企画

京浜急行立会川駅近くに立つ「二十歳の龍馬像」は当時の姿を再現。明治を見ることなくこの世を去った二十歳の龍馬を案内人とし、当時の出来事や偉人たちの活躍を動画で紹介。動画はイベントや YouTube で放映する。

2. 品川歴史館特別展「明治維新一そのとき品川はー」 (10 月～12 月開催)

明治以降、日本は近代化の歩みを進め、現在の国の基本的な形を築き上げた。当時の社会の激動を、品川に暮らした人々の視点を軸に取り上げる特別展を開催。

3. 地域団体が主催するイベントを支援

10 月に予定されている「第 30 回全国龍馬ファンの集い東京大会」開催に伴い、品川龍馬会を中心とした地域団体が関連イベントを開催する。区は観光協会と連携し、支援体制を充実させ、イベントの賑わい創出に協力する。

4. 品川宿交流館明治維新パネル展示

品川宿周辺の幕末から明治初期の様子を 3 カ月ずつ全 4 回に渡ってパネル展示。

◇事業予算

26,353 千円

(内訳)

二十歳の龍馬企画	5,300 千円
品川歴史館特別展	14,003 千円
全国龍馬ファンの集い関連イベント支援	1,000 千円
品川宿交流館明治維新パネル展示	6,050 千円

◇参考資料



内閣官房公認
ロゴマーク



二十歳の龍馬企画 (案)



東台大戦争図
(品川歴史館所蔵)

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834

【新規】UNITE HEART FESTIVAL

～アート・カルチャー・スポーツ イベント～

◇事業目的

東京 2020 大会を契機とし、年齢や障害の有無、国籍、文化の違いなどの多様性への理解を深め、あらゆる人々が参加でき、ともに楽しめる文化・スポーツフェスティバルを開催する。スクエア荏原全館を活用し各種イベントへの回遊を促すことで、日常触れる機会のない様々なジャンルの体験を通して、文化・スポーツの振興を図る。

◇事業内容

誰もが気軽にギネス記録へ挑戦することができ、共同で一つの手形アート作品を制作するギネス世界記録®町おこしニッポンチャレンジ「8時間で押された最多手形ペイント」や、障害のある人を含め美術の専門教育を受けていない人々が、独自の発想と手法で行う創作活動を紹介する「アール・ブリュット展」、パラリンピアン等のトップアスリートによるトーク・体験・交流会をはじめ、絵画や音楽、スポーツなど様々な立場の参加者が楽しめるコンテンツを、地域団体（※）や関係部署と連携し実施する。

（※）近隣町会、文化芸術関係団体、スポーツ推進関係団体、障害者福祉団体 等

◇事業予算

34,089千円

(内訳)

ギネス世界記録®町おこしニッポンチャレンジ	2,950千円
アール・ブリュット展	4,000千円
パラリンピアンによる体験・交流会	1,822千円
その他体験イベント（音楽と映像によるコンサート等）	17,225千円
PRおよび関連経費	8,092千円



問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834



【新規】観光マナーブック・おもてなしブックの作成

◇事業目的

日本に来る外国人観光客は、年々増加し、平成 28 年には 2,404 万人と日本政府観光局が発表。今後、2019 年のラグビーW杯や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなる観光客の増加が予想されている。

区では「繰り返し訪れて楽しいまち しながわ」を目標に水辺や公園、商店街、旧東海道、桜並木、地域の祭礼、イルミネーションなど日常の生活環境に着目した「都市型観光」を推進。また、区内を走る鉄道は、14 路線延 40 駅と充実しており、空港や大型集客施設等へのアクセスの良さは魅力の一つ。

そこで平成 30 年度は、訪れる側の外国人観光客向けのマナーブックと受け入れる側の店舗および区民を対象にしたおもてなしブックの 3 種類の冊子を作成し、「お互いの文化や風習の違い」への理解を促進し、トラブルの未然防止など、より多くの人々が楽しめる区内観光を目指す。

◇事業内容

1. 外国人観光客に向けたマナーブック

日本の文化や風習、区内主要スポットを紹介

参拝方法／電車、バスの乗り方／公衆浴場のマナー／エスカレーターの乗り方 など
5カ国語対応（英・中（繁体・簡体）韓・タイ） 計 25,000 部（ホテルフロント・空港・鉄道各駅等で配付）

2. 店舗に向けたおもてなしブック

外国人買い物客との接し方、接客のアドバイスを紹介

各国のあいさつ／サイズの表示／食事、習慣／外観上の工夫／タブー など
2,000 部（商店街で配付）

3. 区民に向けたおもてなしブック

日常生活での外国人観光客との接し方を紹介

外国人が求めていること／会話のポイント／困っている人への対応 など

3,000 部（役所・観光協会・地域センターのほか、観光スポットとなっている地域の区民に直接配付）

◇事業予算

11,740 千円

(内訳)

外国人観光客に向けたマナーブック	7,600 千円
店舗に向けたおもてなしブック	2,140 千円
区民に向けたおもてなしブック	2,000 千円

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834

【新規】PR 動画発信による観光客誘致

◇事業目的

外国人が多く集まる都内のスポットや閲覧頻度が高いポータルサイトで、区内5カ所の魅力スポットを各1分で紹介する短編動画「By yourside Shinagawa」を放映し、PUSH型の動画拡散を実施する。

動画は、平成29年8月にディスカバリーチャンネルと連携し、アジアを中心とした15カ国で放送した映像を引き続き活用し、外国人観光客をメインターゲットとして、幅広くしながわ観光をPRすることで来訪者の増加によるにぎわい都市の実現を目指す。

◇事業内容

1. 渋谷「Q'S EYE」スクリーンでの放映

観光スポットとしても知られている渋谷駅前のスクランブル交差点で、PR動画を1日30回、1カ月間にわたり放映する。QFRONTビルに設置された巨大スクリーン(7.28メートル×12.95メートル)で動画を放映し、1度に歩行者約1,500人へPRする。

2. 東京「TIC TOKYO」モニターでの放映

年間43万人の外国人観光客や、国内旅行者が利用する観光案内所「TIC TOKYO」内のモニター5カ所で、1時間に1回、12ヶ月間にわたりPR動画を放映する。また、20段のパンフレットラックを利用し効果的にPRする。

※TIC TOKYO…東京駅日本橋口から徒歩1分、日本政府観光局(JNTO)公認施設

3. 「Japan Info」への動画掲載

月間ページプレビュー数は2,400万件、230以上の国や地域で閲覧されている訪日外国人向けポータルサイト「Japan Info」にPR動画を掲載し、来日を検討・予定する訪日前の多くの外国人にPRする。

◇事業予算

8,705千円

(内訳)

Q'S EYE

6,653千円

TIC TOKYO

1,080千円

Japan Info

972千円



Q'S EYE



TIC TOKYO

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834



【新規】「品川区文化芸術振興協議会」による 文化芸術のまちづくり ～文化芸術に触れ親しむための環境整備～

◇事業目的

区民が気軽に文化芸術に触れ親しむための環境を整えるために、区内の文化芸術関係団体を主体とした協議会を設置し、文化芸術資源、情報の共有、関係団体相互の連携促進を図り、文化芸術の振興を一層加速させる。

また、協議会の構成団体を中心とした文化芸術事業を展開していくことで、東京2020大会に向けた機運醸成を図るとともに、大会後を見据え、事業展開や相互連携によって育まれた協力関係や環境をレガシーとして残していく。

◇事業内容

音楽、美術、演劇、伝統芸能等、日頃から文化芸術の振興に取り組んでいる区内の団体や、大学、企業等が主体となって、文化芸術に関する課題を検討し、相互に連携して既存の枠にとらわれない事業に取り組む。

6月にキックオフイベントとして「品川区文化芸術フォーラム（仮称）」を開催し、協議会の発足や今後の文化芸術施策の方向性等について、講演会やパネルディスカッションを行い、広く区内に周知を図ると共に、「オール品川」での取り組みの推進を目指していく。

◇事業予算 16,580千円

(内訳) 協議会実施事業経費	5,000千円
フォーラム開催および協議会運営支援業務委託経費	11,000千円
謝礼等	580千円

◇連携事業

UNITE HEART FESTIVAL ～アート・カルチャー・スポーツ イベント～ P29

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834

【新規】開設！しながわ観光大使館（仮称）

◇事業目的

区の重要な文化・芸術施設であるスクエア荏原（荏原4-5-28）。多くの利用者にとって、さらに利便性が向上するよう、観光案内やカフェを備えた多機能観光施設「しながわ観光大使館（仮称）」を同施設内に開設する。

また、地域のにぎわい創出や地域プライドの醸成の他、国内外からの来訪者、地域住民、子育て世代、スクエア荏原の利用者など幅広い利用者の「交流の場」「地域のシンボル」となる施設を目指す。

◇事業内容

1. 観光案内

荏原地区における観光情報発信拠点として、パンフレット等の配布・簡易の観光案内を行う。

2. 観光スポット

シナモロールをモチーフにしたカフェを開設し、区内外からの観光客を集客し、地域経済の活性化につなげるとともに、文化・芸術の拠点施設であるスクエア荏原利用者の利便性向上にも活用する。

3. 地域の憩いの場

シナモロールと親和性の高い20代・30代の子育て世代の「憩いの場」となるよう、シナモロールを活用した整備を行い、コミュニティ形成を促進する。

4. 開設時期

平成30年秋ごろを予定

◇事業予算

47,000千円		
(内訳)	施工費	16,700千円
	運営費	26,200千円
	案内標識、広告費	4,100千円

◇関連事業

しながわ観光大使“シナモロール”で区の魅力発信 P34



©1976,2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G583008

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834



しながわ観光大使 “シナモロール” で区の魅力を PR

◇事業目的

平成 29 年 2 月に「しながわ観光大使」に任命したサンリオキャラクターの「シナモロール」が持つ全国的な知名度を最大限に生かし、区内イベント出演や観光パンフレット、WEB 掲載などに活用。今後も「しながわ観光大使＝シナモロール」のイメージを区内外に広く定着させ、しながわ観光の魅力を発信する。

◇事業内容

引き続き 29 年度事業を充実させる。さらに若者をコアターゲットとし、品川でしか会えないシナモロールを強調したオリジナルコンテンツを確立する。

1. 区内イベントへの出演と スタンプラリー等のイベント開催

区内で開催される様々な観光イベントに出演。また、区内を回遊し、しながわ観光を楽しめるラリーパンフレットを更新

2. ノベルティ等の作成

抱きつき型バルーン、ステッカー、のぼり、テント横断幕等を作成

3. メインビジュアル作成【新規】

現メインビジュアルを発展させ、季節ごとの品川をイメージしたビジュアルを作成

4. イベントプログラム作成【新規】

イベント時に行うダンス等の演出をした品川区バージョンのプログラムを作成

5. ふるさと納税返礼品にシナモロールのぬいぐるみ【新規】

オリジナルデザインのぬいぐるみを制作し、ふるさと納税寄附の返礼品として活用。3 万円以上のふるさと納税寄附者を対象

6. イラストデザインの道案内タイルの設置【新規】

公共交通機関や広域避難場所等を示す道案内タイルを設置

7. デザインマンホールの整備とマンホールカードの発行【新規】

大井町駅周辺のマンホール蓋 1 つをシナモロールデザインに変更。また、マンホールカードを作成し 1 人 1 枚配付

◇事業予算 25,695 千円

(内訳)	イベント出演、ノベルティ作成	18,450 千円
	メインビジュアル、イベントプログラム作成	4,950 千円
	ふるさと納税返礼品ぬいぐるみ	1,400 千円
	道案内タイル、マンホール整備・カード発行	895 千円

◇関連事業 開設！しながわ観光大使館（仮称） P33

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834
 (ふるさと納税返礼品)総務部 税務課長 電話 03-5742-6661
 (タイル、マンホール) 防災まちづくり部 道路課長 電話 03-5742-6788

〈参考資料〉



【メインビジュアル（現在）】



【デザインマンホールイメージ】



障害者スポーツを身近に！

◇事業目的

子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず、誰もが一緒に「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツを楽しめる地域社会の形成を目指し、障害者スポーツの理解・普及・振興を図る。

◇事業内容

1. ユニバーサルスポーツフェスタ（年2回）

ボッチャやフライングディスク等の競技や、ダンス・リズム体操等の体験を通して、体を動かすことの楽しさを知る。

2. 障害者スポーツチャレンジデー（年1回）

国内トップレベルのアスリートによるスポーツ教室や障害者スポーツ体験を通して、障害者スポーツへの理解と関心を高める。

3. 障害者スポーツ教室（年6回程度）

知的障害者が身近な場所でスポーツに親しめるよう、フライングディスク教室を開催する。

4. 障害者水泳大会（年1回）

障害者を対象に、自由形・背泳ぎ・個人メドレー等、日頃の練習の成果を発表する場として水泳大会を行う。

5. 障害者兼用スポーツ用具の整備

障害の有無にかかわらず楽しめるスポーツ用具を常備し、貸出する。

◇事業予算

8, 234千円

(内訳)

ユニバーサルスポーツフェスタ	403千円
障害者スポーツチャレンジデー	6,754千円
障害者スポーツ教室（フライングディスク）	224千円
障害者水泳大会	460千円
障害者兼用スポーツ用具購入費	393千円



ユニバーサルスポーツフェスタ



障害者水泳大会

問い合わせ：文化スポーツ振興部 スポーツ推進課長 電話 03-5742-6591

いつでも・どこでも「しながわ体操」

◇事業目的

区民が「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」楽しめる、気軽な体操である「しながわ体操」を普及させ、区民の健康増進を図る。

◇事業内容

日本体育大学と連携し、平成 29 年 6 月に完成した「しながわ体操」を区民に普及させるために、様々な事業を実施する。

1. 普及イベント

「しながわ体操」に関わる講師を招き、区民を対象に講演会・実技講習会を実施する。

2. 指導者向け実技指導会

スポーツ推進委員等を対象に指導者向けの指導会を実施し、「しながわ体操」出前普及事業の指導員を養成する。

3. 出前普及事業

指導者が関係施設や区の関係イベントに出向いて、指導を行う。

◇事業予算

914千円

(内訳)

普及イベント・実技指導会講師謝礼他

710千円

普及イベント会場設営委託他

204千円



問い合わせ：文化スポーツ振興部 スポーツ推進課長 電話 03-5742-6591



東京 2020 大会まであと 2 年！ 区内開催競技を盛り上げよう！！

◇事業目

東京 2020 大会の区内開催競技（ホッケー、ビーチバレーボール）について、スポーツフェスタや教室・体験等を通じて、認知度の向上および大会機運の醸成を図る。

◇事業内容

1. スポーツフェスタ ～東京 2020 大会 2 年前イベント～

東京 2020 大会開催の 2 年前を記念し、区内開催競技を含めた様々な競技の体験や、オリンピック・パラリンピアンを招いた交流などのスポーツイベントを開催。

2. ホッケー教室（初級・中級）

小学生以上の区民を対象に、競技ルールやドリブル・シュート等の基本の動作を学ぶ教室を開催。また、既に経験を積んでいる参加者を対象に、レベルを上げた中級程度の教室を 29 年度に引き続き開催し、最終回には参加者によるミニゲーム大会を実施。

（全 5 回）

3. ビーチバレーボール（トーク&チャレンジ）

ビーチバレーボール選手による競技のルールや魅力、東京 2020 大会などに関するトークショー、競技の体験教室を実施。（5 回程度開催）

◇事業予算

26,197 千円

（内訳）	スポーツフェスタ（2 年前イベント）	23,453 千円
	ホッケー教室（初級・中級）	1,791 千円
	ビーチバレーボール（トーク&チャレンジ）	953 千円



ホッケー教室



ビーチバレーボール
トーク&チャレンジ



品川区 3 競技応援キャラクター
区内開催競技：ホッケー
ビーチバレーボール
区応援競技：ブラインドサッカー

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長
電話 03-5742-6884

東京 2020 大会

パラリンピック競技を体感し 区応援競技を盛り上げよう!

◇事業目的

東京 2020 大会の正式競技で品川区が応援するブラインドサッカーの迫力を体感することにより、区応援競技を盛り上げる。また、パラスポーツを体験することにより、パラ競技の認知度向上を図りパラスポーツへの理解を深める。

◇事業内容

1. ブラインドサッカー公式戦・国際大会の開催

- (1) ブラインドサッカー公式戦（東日本リーグ）開催 （区内開催 4 回目）

ブラインドサッカー公式戦「東日本リーグ」（国内トップレベル）を区立しながわ中央公園で開催。体験教室も実施。

- (2) ブラインドサッカー国際大会（ワールドグランプリ）開催 （区内開催 2 回目）

ブラインドサッカー国際大会「ワールドグランプリ」を区立天王洲公園で開催。体験教室も実施。

2. 団体でパラスポーツを体験

- (1) ブラインドサッカー出前体験教室 （10 回程度開催）

区内で定期的に活動している団体を対象に、講師と視覚障害者選手を派遣する。

- (2) ジュニア・リーダー教室大運動会でパラスポーツを体験

- ① 実施日 9月16日（日）

- ② 会場 中小企業センター、しながわ中央公園多目的広場

- ③ 内容 ボッチャ、ブラインドサッカー、シッティングバレーボールなど

◇事業予算

44,778千円

(内訳)

ブラインドサッカー公式戦（東日本リーグ）の開催	2,924千円
ブラインドサッカー国際大会（ワールドグランプリ）開催	39,986千円
ブラインドサッカー出前体験教室	1,169千円
ジュニア・リーダー教室パラスポーツ体験	699千円



問い合わせ：

文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長 電話 03-5742-6884
 (ジュニア・リーダー教室) 子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

地元企業とともに競技を体感しよう

◇事業目的

東京 2020 大会の正式競技であるハンドボールとウィルチェアーラグビーの体験会・交流会を「しながわ CSR 推進協議会」に所属している地元企業等の協力により開催する。各競技の魅力を発信することで、東京 2020 大会に向けた機運の醸成を図る。

◇事業内容

1. ウィルチェアーラグビーの体験・交流事業

ウィルチェアーラグビーのリオ 2016 パラリンピック銅メダリストが所属する「SMK(株)」および「(一社) 日本ウィルチェアーラグビー連盟」の協力を得て、選手との交流や、競技の迫力を体感する。

2. ハンドボールの体験・交流事業

日本代表選手が多く所属する「大崎電気工業(株)」のハンドボールチーム「OSAKI OSOL」(オーサキ オーソル)の協力を得て、選手との交流や、競技体験を行う。

◇事業予算

20,704千円

(内訳)	ウィルチェアーラグビー体験・交流事業	10,602千円
	ハンドボール体験・交流事業	10,102千円



ウィルチェアーラグビー



ハンドボール

問い合わせ：文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック準備課長
電話 03-5742-6884